

平成28年度 第1回理事会 議事報告書

1. 日時 平成28年5月9日（月） 午前11時～午後2時30分
2. 場所 岸記念体育会館 1階 101号室
3. 出席者 理事17名、監事2名
(* 欠席理事2名、欠席監事1名)
4. 陪席 畔蒜 均（千葉）、大江直之（事務局長）
5. 会長挨拶 高橋会長より

今までの協会混乱の原因の一つに情報の共有不足が挙げられる。

これを防止するには、周知することが肝心である。

平成28年度の理事会より理事会活動の周知を図る、地方協会の理解を得やすくする、直接情報を伝える事で誤認や齟齬（そご）を無くす。

以上の理由で理事会終了後、できる限り迅速に理事会活動の情報を公開したい。

報告書という形で理事会速報をホームページやFAXなどで地方に発信し、本部と地方協会のタイムラグを防ぎたい。

丸石・増田両理事に理事会速報の作成をお願いし、本部事務局で発信をしたいと思う。

急な案件で申し訳ないが、賛成の方は挙手をお願いしたい。

(挙手賛成)

本日は報告事項、審議事項が多数あり、オリンピック壮行会も15時より控えている関係から、時間が限られているので円滑な議事進行をお願いしたい。

6. 報告事項

(1) 正会員の変更

広島県：清水幸一、長野県：布野兼一、宮崎県：松田洋介
入会・退会規定に基づき理事会へ報告、了承。

(2) ワールドカップ・ブラジル大会（プレ・オリンピック）について

女子トラップ：中山選手15位、女子スキート石原選手25位
射撃競技全体の参加国80ヶ国以上、参加選手1,000名以上
東京五輪のプレも同様の規模になると思われるので参考にされたい。

(3) 2016リオ五輪関係について

◆壮行会 出席予定 75名及び報道関係

本日15時より 岸記念体育館1階 スポーツマンクラブ

◆スポーツマネージャー候補者

中村 美穂

*1998年から5年間の総務兼通訳として海外派遣へ帯同し、
1998年アジア大会（）、2000年シドニー五輪、2002年アジア
大会へ参加

2004～2015年 ASC事務局にて会長兼秘書・渉外担当

語学能力、業界理解度、人脈・知名度など有能、本人了承済

◆解説委員

井上 恵（神奈川）を選出

*アテネオリンピック代表選手、世界の競技事情精通
女性オリンピックでPR効果に期待

(4) 熊本地震義援金

5月9日現在で120万円以上が集まっている。

今月下旬まで募集を続け、九州ブロック中園理事、不老監事、熊本
県協会柳氏に依頼し、6月上旬頃、益城町を訪問し益城町長へ義援
金を手渡す予定。

(5) 競技委員会報告

去る平成28年4月18日(月)、午前11時より競技委員会打合せを岸記念体育館1階103号室にて実施。

◆報告事項

- ① 前述プレ・オリンピックの成績報告
- ② 春季本部の実施要項報告
 - * BMW 協賛未確定の為今大会での名称削除
 - * 佐賀県協会所属会員の参加不可
 - * 5/14 役員集合時間 12:00 変更
 - * 強化指定の審査募集の確認

◆打合せ事項

- ① 各ブロックの競技担当役員 40 名の報告
 - * 近畿ブロックは寺西氏に選出を一任
 - * 競技担当役員を「競技委員会委員」で委嘱（一部継続審議）
- ② 平成28年度研修会
 - * 平成28年7月初旬～中旬 岸記念体育館で開催予定
 - * 上級コーチや審判員の育成 講師を迎え経験談など
- ③ リオ五輪解説委員の選出
 - * アテネオリンピック選手の井上恵氏に決定
- ④ 春季・夏季本部公式大会の競技役員について
 - * 派遣競技役員を選出
 - * 夏季本部（岡山）は人選を寺西氏へ一任
- ⑤ 反省会について
 - * 各本部公式大会における反省会の実施を決定
 - * 最終日の閉会式終了後、幹部が残りミーティング形式で実施
- ⑥ 国際ジャッジライセンス講習会について
 - * 若い世代のレフェリーに ISSF ジャッジライセンスを取得させ、2020年東京五輪に向け育成を図る。
 - * ISSF に標記講習会の実施希望を打診、実地研修などがあるために講習会場は伊勢原射撃場とする。
 - * ライセンス取得者を国際競技会の審判員として派遣し、実務経験を積ませる。

- ⑦平成28年度公認スポーツ指導者講習会・義務研修について
- * 講師は、従来の渡辺副会長、加藤衛氏に加え、細川常務理事、競技委員会より2名選出し、計5名体制で対応。
 - * 講習会の実施時期・会場については継続審議。
- ⑧その他
- * パウダークレーについて
平成28年度本部公式大会で使用するパウダークレーは、全てナスタ社製を使用。
昨年度の国体において、他社製品は出割れが多くクレーム続出、納品前検品と納品後の対処が必要なため。
平成29年度以降は入札制を導入予定
 - * 平成28年度全日本選手権の出場枠（QP）
今までの参加実績や射撃場の射面数を考慮し、QP配分数を昨年度より減らし、トラップ・スキート共に最大62名とする。
前年度全日本選手権6位まで、前年度国体個人8位まで、当年度各本部公式A・Bクラス6位までとする。
権利の繰り下げは行わない。
(各ブロック選手権上位3位までの配分は廃止)
 - * ダブルトラップ
夏季本部公式（岡山）より試験的に始める予定。
参加料など詳細は継続審議。

（6）強化委員会報告

◆オリンピック枠の設置

当協会登録選手の規範となることを目的とし、オリンピックを讃え感謝の意を表し、下記の条件を全て満たした者に特典を与える
(条件)

- 1 過去のオリンピックへQPで参加した選手
- 2 前述該当選手が直近のオリンピックに参加を希望し、強化委員会が認めた者
- 3 該当選手が直近のオリンピック開催年で50歳未満
- 4 オリンピック枠の認定期間は直近のオリンピック最終予選終了まで

(特 典)

- 1 本部公式大会の参加料免除
- 2 当協会強化拠点（伊勢原・岡山）における自主トレーニング代（入場料・クレー代・装弾代）の免除
- 3 前述の自主トレーニングは上限週2回まで

(留意事項)

- * 当協会の派遣事業や合宿事業は当協会強化選手が対象
オリンピック枠対象選手＝強化指定選手ではない
オリンピック枠対象選手が強化指定選手を希望する場合は、
通常の強化指定選手と同じ選考を経る事

予算計上の必要性の為、審議事項として会長提案。

(挙手により賛成)

(7) 日本体育協会による国体第3期実施競技選定について

国体第2期実施競技選定により、クレー射撃競技は、過去における本部執行部の混迷により（基本財産無許可取崩等）、平成31年の茨城国体から隔年開催、32年度鹿児島は開催不可、33年度三重は開催、34年度栃木は開催不可となっている。

この度、日体協から標記選定に関する通知があり、第3期（平成35年度～4年間）選定評価が発表された。

選定評価は第2期1,500点満点から第3期1,000点満点に変更され、（当協会には不利）1,000点満点の内訳は競技団体のガバナンスに重点が置かれたため、本部、地方協会とも規約・規律を遵守し、節度や責任のある言動に留意が必要となる。

会長より、「当協会は、組織や権限、分担を明確化し、委員会を立上げ、地方協会の理解と協力の下に正常な協会活動を成し遂げることを最優先したい。国体の評価点を気にして内容の無い組織にならぬよう留意して頂きたい」と説明。

7. 審議事項

(1) 共同宣言について

共同宣言を3R宣言とし、各有識者の進言を受け、原案の文言表記等を修正した。内容に変更はないので、承認いただければ直近の社員総会へ理事会案として上程したい。

(挙手より承認)

(2) 参与の委嘱について

過去、協会運営にご尽力頂いた方々(理事)へ感謝の意を表し、次の方々を当協会の参与として委嘱を申し上げたい。

- 1 水上 嘉久 (福岡)
- 2 外畑 雅生 (和歌山)
- 3 五十嵐 芳三 (福島)
- 4 高藤 祚嗣 (岡山)
- 5 寺西 寛 (大阪)

(挙手により承認)

次回の理事会までに、前述の5名以外で当協会の理事や監事を務められた方々をリストアップし、漏れの無きよう顧問や参与にそれぞれ委嘱申し上げたい。

これまでの理事会で承認いただいた「名誉委員」の条件を整理するまでの間は、定款上規定のある名誉役員(名誉総裁、名誉会長、顧問、参与)しか無いため、暫定的な対応とご理解いただきたい。

「名誉委員」の条件整備が終わり次第、本日承認いただいた参与、次回の理事会で承認願う顧問及び参与、または、長年地方協会でご尽力いただいた方々を移行または委嘱することを申し合わせた。

(挙手により承認)

(3) 役員選考委員会について

同委員会規定第3条に基づき委員6名を次の通り選任し、来る5月16日に同委員会を実施、役員改選に伴う学識経験者理事候補者、監事候補者を選出する。

(挙手により承認)

高橋義博(会長)、渡辺幹也(副会長)、三浦正義(副会長)、

及川悦郎（専務理事）、本戸歳知（ブロック理事）、
安田岸雄（監事）

（４）国体予選について

国体の主催者である日本体育協会は、「国民であれば誰でも参加できる国体」を目指し、外国人や中学生、更にはふるさと制度まで導入し参加資格の改善を図っている現状であり、当協会も今後は日本体育協会の方針に添って一般銃砲所持者（非会員）の参加を企画する必要がある。

一方で、地方協会はその多くが県内予選を当協会の地方公式大会に充てているケースが多く、地方公式大会は、当協会の競技規定により非会員の参加は認められていない。

従って、来年の愛媛国体からは、各地方協会が県内予選において当協会の地方公式大会に該当しない独自の予選会を企画いただき、会員登録を経ていない方も県内予選に参加できる方式を採用願いたい。

（例）会員のみ参加 地方公式大会 3回
会員・非会員参加 県内予選会 3回

* 計6回の競技会のうち3回の良スコアを集計し、上位3名
を選出

開催回数や参加料は、各地方公式大会によって対象人数が様々であるため、状況にあった内容を独自に企画、会員・非会員の予選参加料に差を付ける方法もあり。

但し、県内予選を経て国体に参加を希望した非会員は、ミニ国体（ブロック予選）が公式大会に充てられることから、ミニ国体への参加申込み時点で会員登録を済ませる必要がある。

本年度の岩手国体は、既に各地方協会において県内予選を実施されているので、来年度の愛媛国体より非会員も参加できる県内予選の実施を行うこととする。

（拳手により賛成）

(5) 「定款の施行についての細則」の一部改正について

当協会の専門委員会のうち、「競技・国体委員会」については、これまでの実績を鑑み、業務内容が多岐に渡るため、円滑な委員会運営を図る為に競技委員会・国体委員会を分離・独立させる。

競技委員会・国体委員会の分離・独立に伴い、「定款の施行についての細則」第8条、第9条が適宜改正となる。

(挙手により賛成)

平成28年5月10日より改正施行

(6) 国会議員による顧問団編成

銃刀法や火取法で管理されているクレー競技の普及と振興が出来るよう要望書の提出などを関係省庁へ行う。そのために政治にスポーツの後押しをして頂きたい。

与党である自民党より動ける国会議員を、名誉総裁である麻生太郎氏及び村松秘書官と相談しながら厳選し、当協会の顧問団を編成したい。

(挙手により賛成)

(7) 業務執行理事及び各委員会の在り方について

前回の理事会からの継続審議だが、協会三役で上記の出来るだけ具体的なアウトラインを作成、その後、理事会で協議しながら肉付けをし、権限や職務内容を明確化する。

(挙手により賛成)

(8) その他

◆各ブロックの理事定員数が再編し変更になった。

各ブロック幹事県へ本部事務局より通知し、ブロック理事候補者を選出いただく。選出期限は次回の第2回理事会(6月10日)頃を目途としたい。

選出方法は公明正大を第一とし、ブロック内で納得する選出方法により決めること。

合併されたブロック(2ブロックが1つ)となり選出理事数が2名の場合、これまで通り偏ることはせずバランスを考慮して選出

頂きたい。

平成27年度決算及び役員改選を議題とした定時社員総会は、来る6月28日を予定。

以 上